

令和2年度 第2回住吉区防災専門会議への事前意見に対する対応方針

資料1-2

番号	意見	対応方針	参考
1	<p>【NHKデータ放送における河川水位情報の提供について】</p> <p><u>NHK①テレビのdデータで「防災・生活情報→河川水位情報→大阪府の河川の水位」で大和川柏原観測所の水位の増減が見られたが、数か月前から『氾濫注意』『氾濫警戒』『氾濫危険』『氾濫発生』の4段階のみ水位の表示となった。</u></p> <p>NHKに確認すると、<u>スマホの普及で止めた</u>とのことであった。お年寄りには、スマホの扱いも不慣れで数分毎に増減変化を見ることができ避難準備に活用出来た。</p> <p><u>大阪市や区からはNHKに再考要望は出来ないか。</u></p>	<p>NHK大阪放送局に確認したところ、委員のご意見どおり以前は平時であっても河川の水位情報を掲載していましたが、データ放送による容量が膨大で地図の画像解析にかなりの時間を要するため、一部の観測所しか表記されない等の課題があったため、『氾濫注意』等の基準を設定しているすべての河川観測所の水位が基準を超えた場合、河川名や観測所名、水位の増減等の情報を表形式で表示する方式に変更したとのこと。</p> <p>当区からNHKに対して、委員ご指摘のような意見があった旨申し伝えました。</p>	原田委員
2	<p>【災害情報について】</p> <p><u>コロナ対策でオンライン会議がよく使われている。これを応用し、スマホ等で防災情報を共有（ストリーミング配信）する研究等をされてはいかがか。</u></p>	<p>防災情報を広く区民等に周知することや関係機関で情報共有を行うことは非常に重要であると認識しています。</p> <p>住吉区では避難所主任等災害時に現場に赴く職員や区災害対策本部の間でLINEグループを作成しており、現場の写真等を添付して被害状況等を区本部に報告することによって情報を共有することとしています。また、収集した情報に基づき、区民に対してホームページやツイッターで情報を提供してまいります。</p> <p>(総合防災訓練において実施)</p> <p>さらに区災害対策本部と各関係機関(災害時避難所、福祉避難所、医療機関等)との新たな情報共有ツールとして、昨年度 iisumi を導入したところであります。</p> <p>ストリーミング配信については、リアルタイムで現場の状況が確認できるなど非常に有効であると思いますが、利用方法や費用対効果等課題もあるため、検討項目として認識しておきます。</p>	畑委員